

# 溶連菌感染症

## [溶連菌感染症とは・・・]

A群溶血性連鎖球菌(溶連菌)が喉に感染して、喉の痛み、嘔気・嘔吐、発熱(38~40℃)体や手足に発疹が出たりします。舌がイチゴの様にブツブツが目立つ赤さとなったり、眼球結膜(白目)が赤くなったりします。首のリンパ腺が腫れることも特徴の1つです。うつる病気です。感染してから2~4日で症状がでます。

## [治療]

有効な抗菌薬を、決められた期間内服します。数日で熱が下がり、喉の痛みも消えますが、途中で薬を飲むのをやめてしまうと再発します。薬はきちんと飲まないと、まれながら心臓弁膜に障害を起こすリウマチ熱や腎炎などの合併症を起こすことがありますので、症状が消えても医師の指示通りに最後まで薬を飲むことがとても大切です。

## [家庭で気をつけること]

- ・家族にもうつる?・・・うつります!咳やくしゃみなどで感染します。手洗いうがいを徹底しましょう。ご家族で同じような症状があれば受診して下さい。
- ・食事は?・・・喉が痛いときは熱いものや辛いもの、酸っぱいものや苦いものなどの痛みを強くするものは避けましょう。喉ごしのよいもの(ゼリーなど)、消化のよいもの(おかゆ、うどん)などを食べましょう。食べるのがつらければ水分だけでも十分とらせて下さい。
- ・入浴してもよい?・・・熱がなければかまいません。寒い季節では湯冷め予防のため気温の高いお昼の間に入れましょう。
- ・登園・登校は(集団生活)?・・・幼稚園・保育所・学校には届け出て下さい。診断された当日と翌日(今日・明日)はお休みし、熱もなく食欲もあり、元気があれば'あさって'から可能です。
- ・嘔気・嘔吐・・・吐き気があるときは早めにナウゼリン<sup>®</sup>を使用して下さい。

[こんな時はもう一度受診を!]

- ・喉が痛くて水分がとれない時
- ・嘔気・嘔吐が続く時
- ・お薬を飲み始めて2~3日たっても熱がさがらない時

☆腎炎を合併することはほとんどありませんが、当院では抗菌薬内服終了後1か月頃の検尿をおすすめしています



※お具合の悪い時は早い時間に受診して下さいね!

たはらクリニック  
083-923-3415